

はあくまでも一般会計の繰入れでありこれからは困難。施設改修に約18億円を要することから料金の値上げを含めないと施設改修はできなくなる。

●水道事業会計

Q：水道が余っているのではないか、マンションの利用の取り込みを図っては。

A：マンションへの供給は検討していなかった、湧水、井戸水からの有水量を調査してみない何ともいえないし、マンションからの希望もない。

Q：家庭消費支出の0.5%が水道料金といわれている。水道料の値上げを何時、どのくらいを考えているか。  
A：水道事業会計に17億円の借入れがあることから、下水道料金の値上げ後に考えたい。

健康福祉課

Q：ファミリー健康プランの中間評価の分析業務を専門家に委ねているが、町はどう評価しているのか。  
A：地域を巻き込み、学校

と連携が強まったこと等数字で表わせられない効果が現れている。今年度の課題である心の問題を先生と話し合っ進めている。

Q：人工透析の厚生医療費給付金は町負担割合分が計上されているのか、また交通費の補助、医療費の個人負担金額と患者数は。  
A：人工透析患者数14名、交通費の対象者は11名、66万8千円の1/2助成、所得制限があるが町の対象者は国保医療費を月額1万円負担となつてい

る。

●介護保険特別会計

Q：徴収率87.2%は他の自治体に比べてどうか。  
A：19年度83.9%昨年度に比べて上がっている。20年度国保の徴収率は県下ワースト3位

Q：介護保険で徴収別の保健者数は、年金を担保に金を借りている事例があるのか。  
A：特別徴収2千135名、普通徴収293名。生活費に年金を担保に政府外郭団体から借りること、

最近も照会があった。

Q：マンションの定住者に高齢者の実態は掴んでいるか。  
A：マンション所有者には高齢者、介護認定者と思われの方がいる。中には独居が無理な方にサービスの提供を申し入れたが、本人も管理者からも関わりを断られる等事例があつて困っている。

●国民健康保険特別会計

Q：今年度は税率が上がり更には先般の不祥事問題に町民からの不満の声があるか。この状況をどう見ているのか。  
A：町民の一部からは不満の声があつたものの、10月頃になれば前年度と比べ徴収率の傾向が解かるだろう。

Q：前期高齢者交付金1億7千万円により保険料が急激に下がったこの交付金とは。  
A：交付金は退職者医療制度や任意継続者医療制度に変わる新たな医療制度で各保険者に応じて保険者内の不均衡を調整する制度。

●後期高齢者医療特別会計

Q：広域連合納付金は、一般事務に対する納付金か、不用額が多くなった理由は。連合会の資料から町の後期高齢者医療費が県下、全国二安い医療費となつた理由は。  
A：概算で対応したこと、把握が遅れ不用額を減らせなかった。後段については、町の予防事業、健康事業によるウエイトが高く、この結果ではないか。

●病院事業会計

Q：電子カルテの活用状況は。  
A：導入して1年、紙のカルテに比べ動きがスムーズで、患者への待ち時間も短縮して効率化している。

町民課

Q：保育料の滞納は今どうなっているか。また、毎年滞納している者がいるか。  
A：18年度から30万円程度増え、1名で100万円超えの滞納、町税もあることから税務課の協力を得

ながら行っている。

産業観光課

Q：広域行政職業訓練校へ町民がどれくらい受講しているのか。  
A：広域行政職業訓練校、サンテックは18コース総受講生数3,798名の内町から423名受講、24名が通学している。

Q：有害鳥獣の問題はどの地域も作物被害で困っている。この問題をどう考えているか。  
A：猪・熊の出没情報に基づき檻の設置を猟友会に委託している。サルは駆除のために群れが別れ、増えてその対策に苦慮している。

